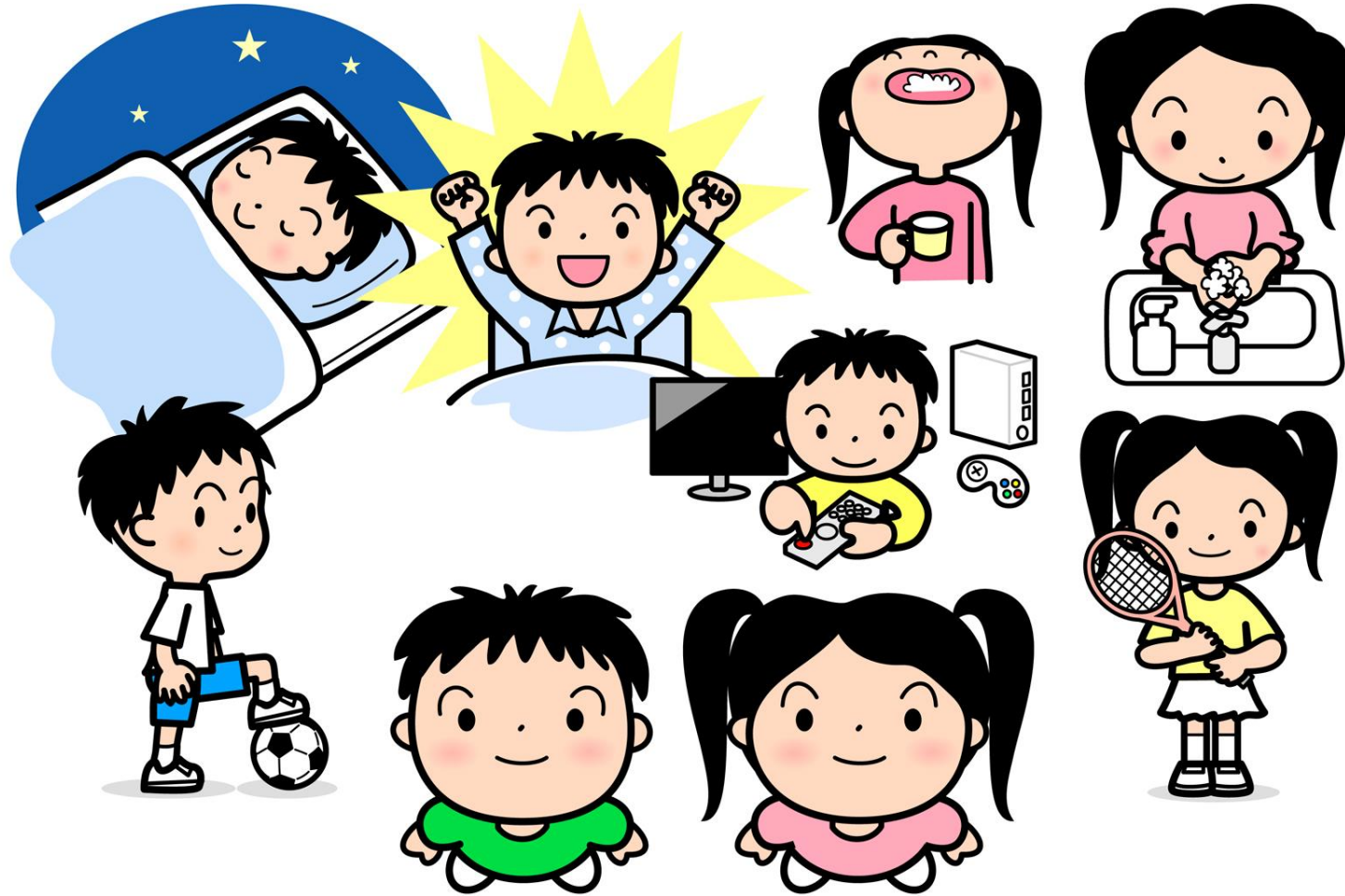


令和4年度学校保健安全委員会資料



令和4年7月7日 13:30~ 視聴覚室

1. 発育測定の結果について

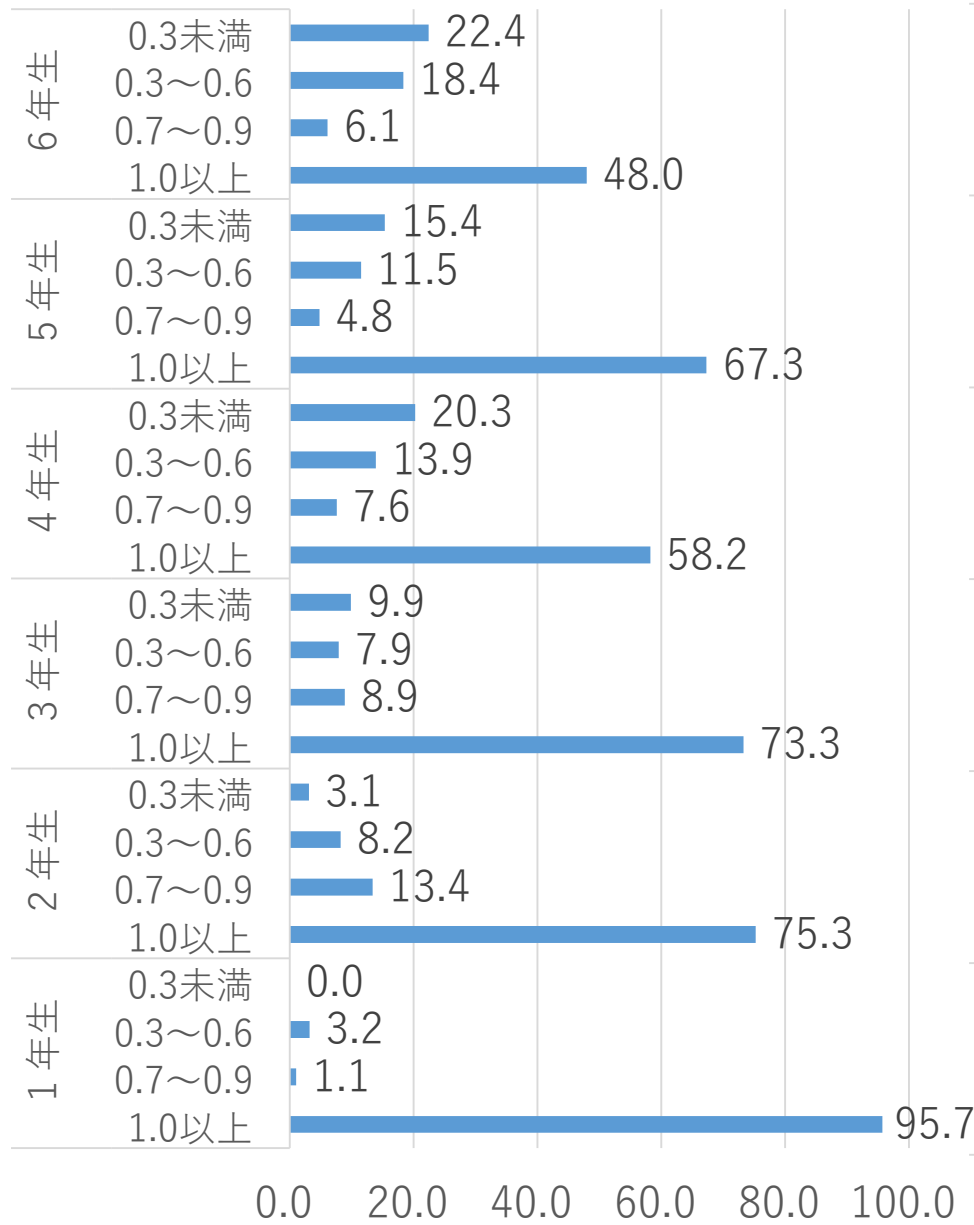
	男子		女子	
	身長・cm	体重・kg	身長・cm	体重・kg
1年生	116.9	21.9	115.1	20.6
	117.5	22.0	116.7	21.5
2年生	121.9	23.9	121.0	23.8
	123.5	24.9	122.6	24.3
3年生	128.1	27.1	127.2	26.9
	129.1	28.4	128.5	27.4
4年生	133.8	31.5	134.5	30.2
	134.5	32.0	134.8	31.1
5年生	138.3	34.5	139.9	33.6
	140.1	35.9	141.5	35.4
6年生	145.8	39.8	147.4	40.0
	146.6	40.4	148.0	39.0
※下欄は全国平均（R2年度）				



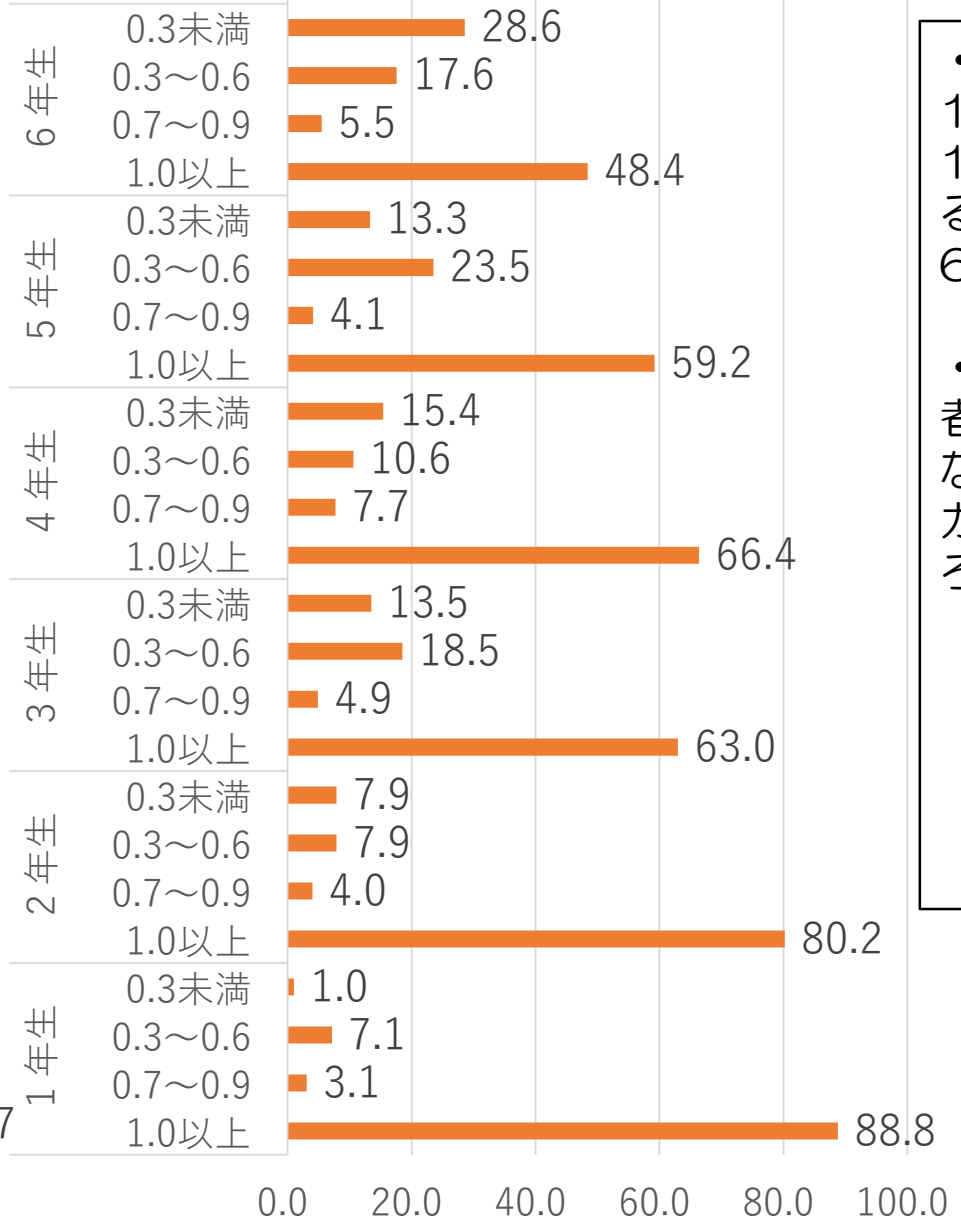
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月30日までに実施しなければならぬところを年度末までに実施することとなったため、成長の著しい時期において測定時期が異なったデータを集計したものとされており、測定値がかなり大きいものとなっている。

2. 視力測定の結果について

本年度割合




昨年度割合



・昨年度と比較して、1.0以上見える割合が10%程度低下しているのは、現2年生、現6年生である。

・現4年生に視力低下者が多く、高学年になってからの更なる視力低下が気になるところである。



目の健康啓発マンガ
デジタル時代の
子どもの目を守る！
ギガッコ
デジたん
©2021日本眼科医会

デジタル画面を見る時の

五つの心得



全エピソードは
こちらから



企画・制作



公益社団法人
日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

協力

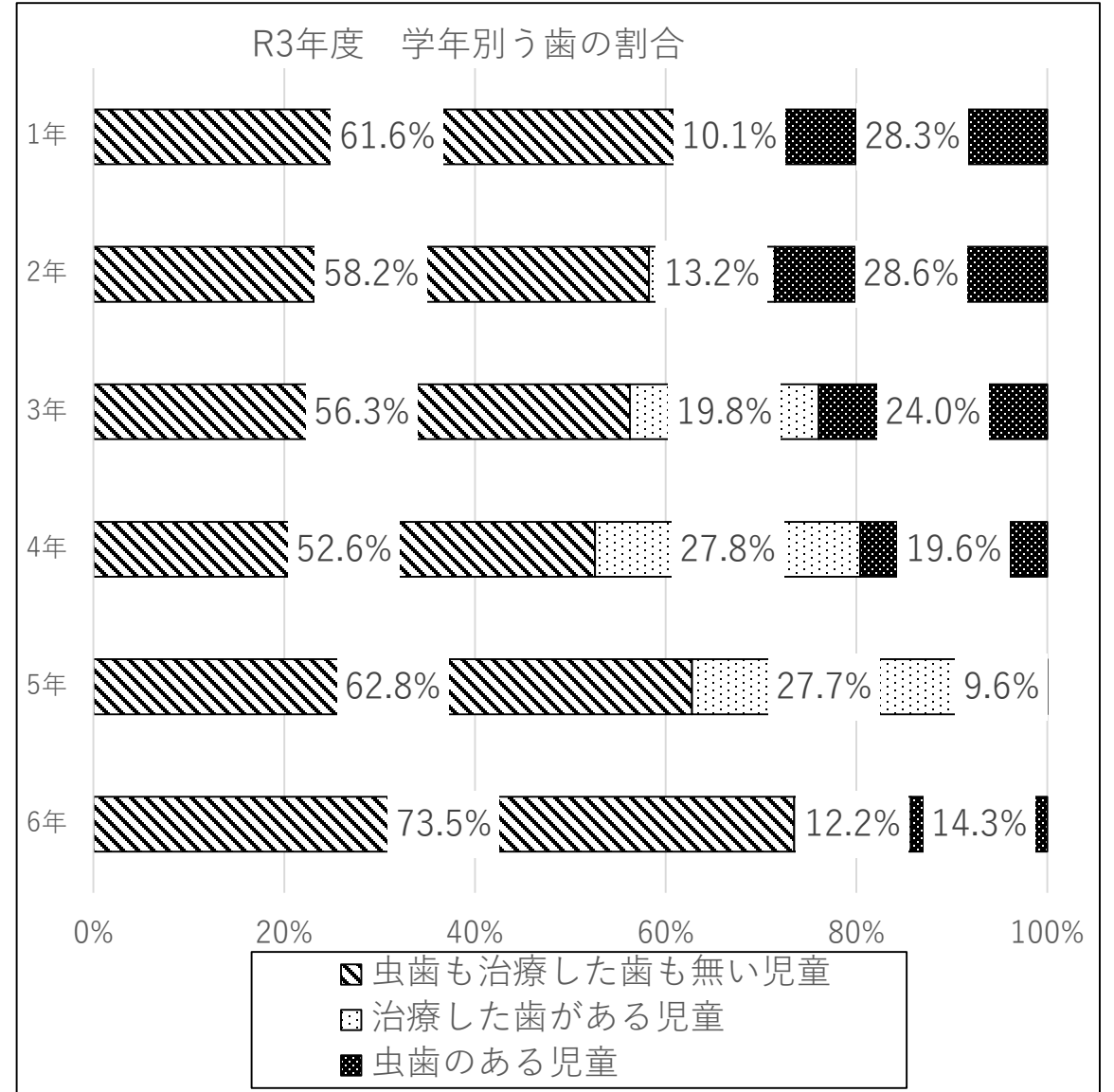
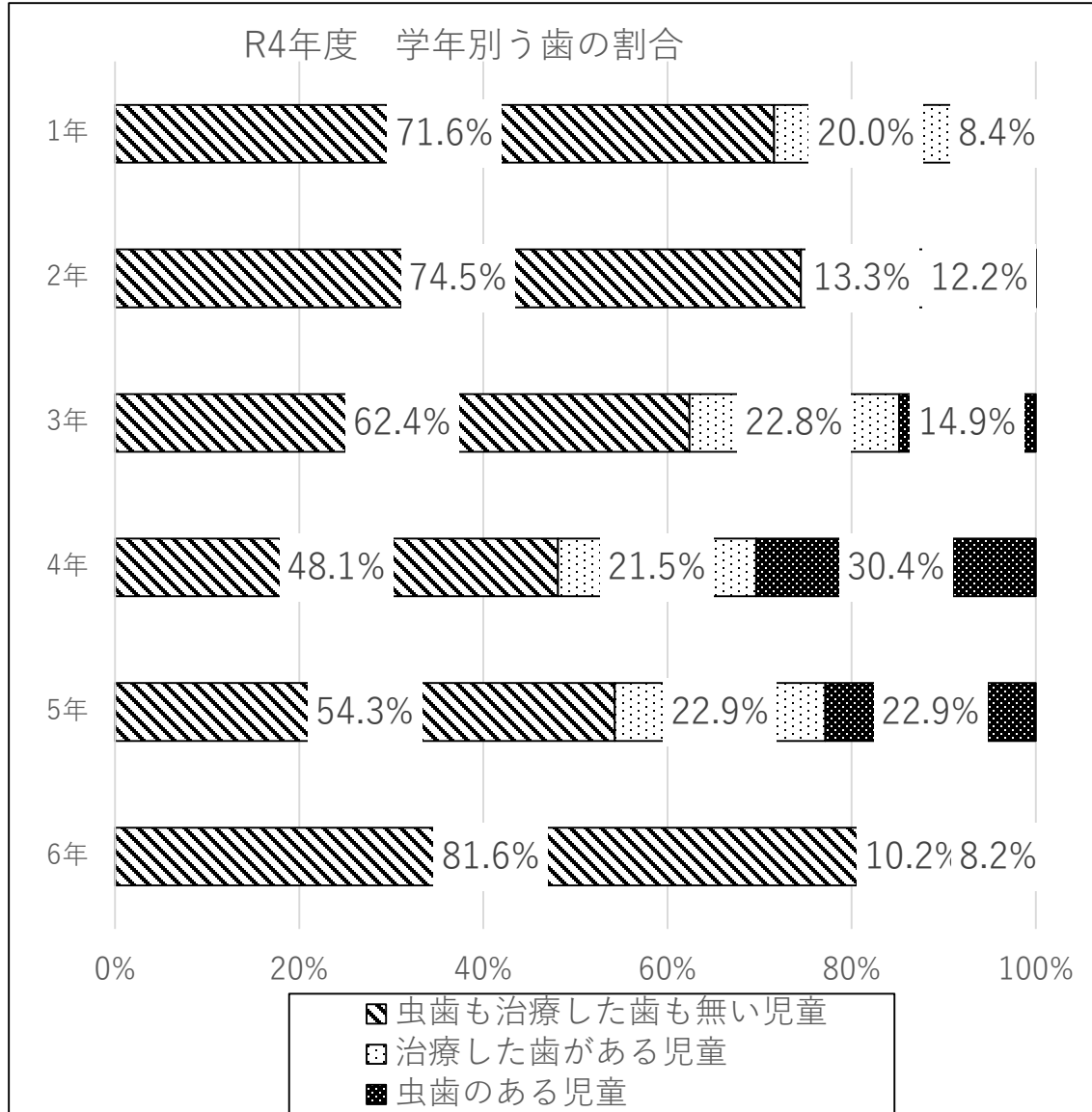


文部科学省

初等中等教育局健康教育・食育課

- 文科省からタブレット使用の際の注意喚起が出ていますので、お気をつけください。
- 眼科校医の木村先生は、米国眼科学会議の「20-20-20」ルールを推奨されています。連続して20分デジタル端末画面を見たり、画面の文章を読むなどをすれば、20フィート（約6m）離れたところを20秒間眺める、という決め事で、30cm以内の近業作業を意識的に減じる方策だそうです。特にタブレットなどの学習の時には意識して取り組んでください。

3. 歯科検診の結果について



- 昨年度と比較して、現2年生、現3年生は昨年度に比べてう歯の児童の割合が10%以上減少している。
- 逆に、現4年生は、う歯の児童の割合が増えている。

4. その他健康診断で多かった疾患や気になる疾患について (カッコ内の数字は保健調査票から読み取って集計したもの)

ぜん息



★0.7% (8.2%)

ヒューヒュー、ゼーゼーという呼吸音がしたり、発作性のせきや呼吸困難を起こす病気です。ダニ、ハウスダストなどのアレルゲンや刺激物質が原因で起こる場合や、運動をした後に発症する場合があります。



脊柱側弯症



★2.4%

背骨が左右どちらかに曲がる病気です。ぎっくり腰や姿勢の悪さによって一時的に起きる場合と、成長とともに少しずつ進行していく場合があります。

重症化すると、肺を圧迫して呼吸障害が起こる場合もあります。治療して矯正する必要があります。



★8.3% (12.1%)



アトピー性皮膚炎

症状

かゆみのある湿疹が出たり治ったりします。顔、首、肘の内側、膝の裏側などによく現れますが、全身に広がることもあります。

原因

皮膚が乾燥しやすい、刺激に敏感であるなど、生まれながらの体質に加えて、ダニやホコリ、食物、動物の毛、シャンプーや洗剤、

汗、プールの塩素、生活リズムの乱れ、風邪・感染症、ストレスなどの環境が、湿疹を悪化させる原因になります。



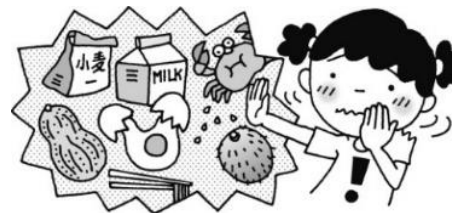
予防・治療

- 原因となるものを取り除く…室内の清掃、換気、食べ物の除去をします。
- スキンケア…皮膚の清潔を保ち、保湿します。適切なシャワー・入浴を行ないます。
- 薬物療法…患部に外用薬を塗る、かゆみに対する内服薬をのむなどです。

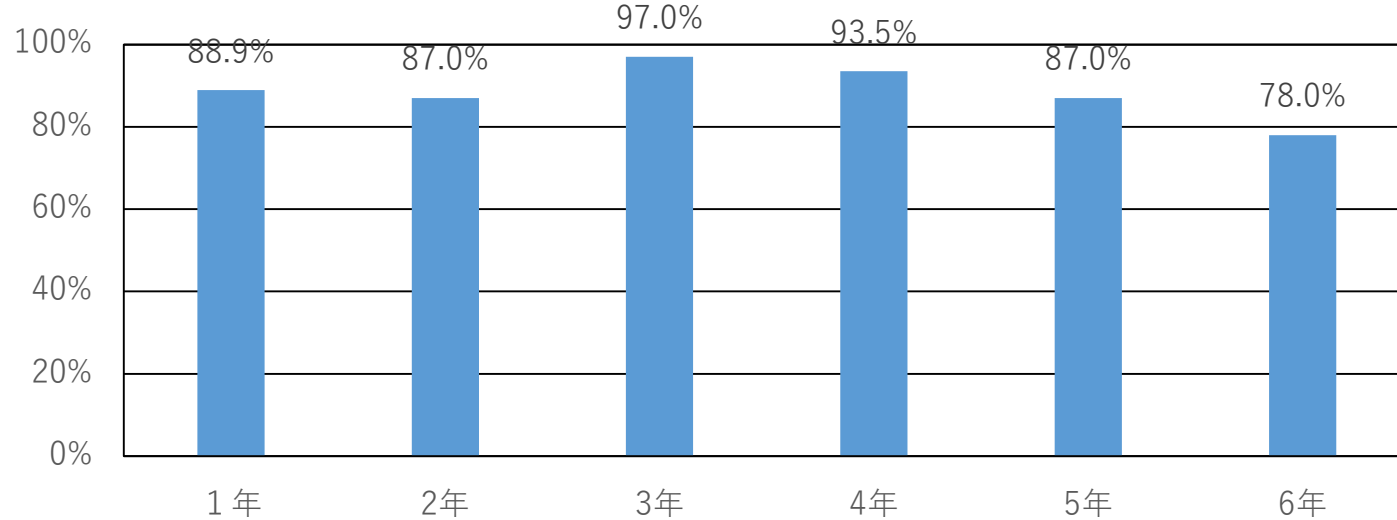
食物アレルギー

★(8.8%)

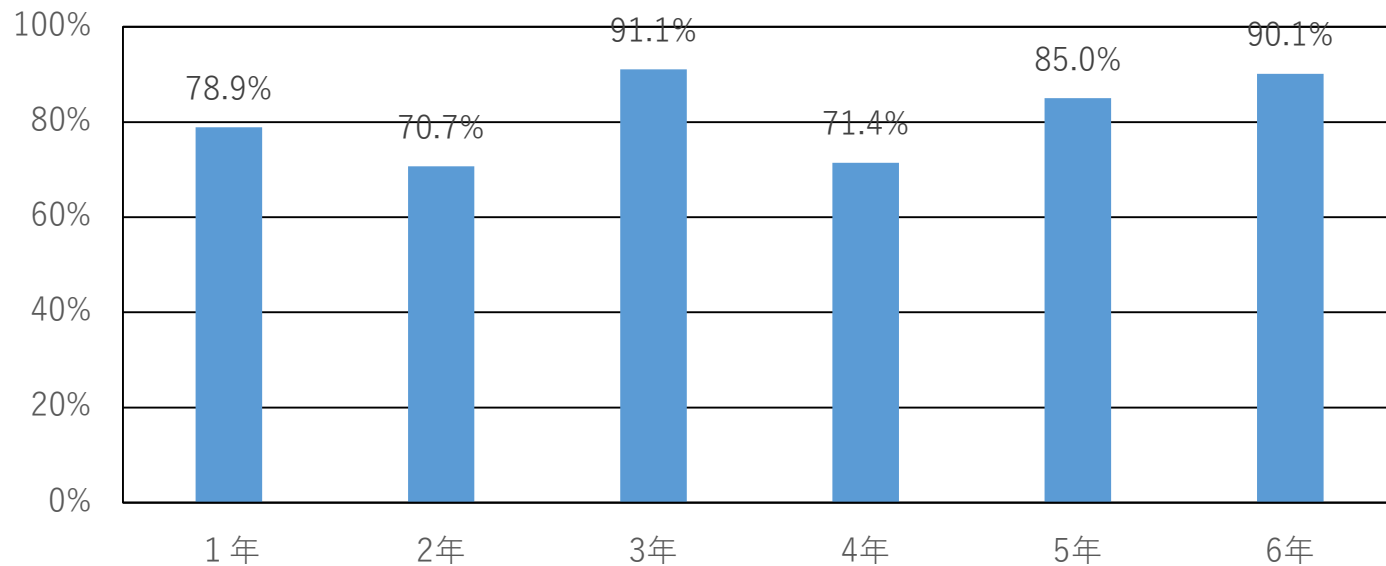
ある特定の食物に対して、体が過敏に反応し、蕁麻疹や喘息、嘔吐・下痢などの症状を示す病気です。症状のひどい人は、アナフィラキシーショック(血圧低下・呼吸困難・意識混濁等)といって、命に関わることがあります。



朝ごはん主食を毎日食べている児童の割合



学年ごとの就寝時刻がまもれた人の割合（5日以上）



○朝食に主食を食べる児童の割合は、全体の平均では88.6%でした。

高学年の摂取率が少し低い傾向にあるので、中学校への進学に向けて、朝ごはんを含めた規則正しい生活リズムを営んでいくことが必要だと思います。これから委員会活動や保健指導で、更に啓発していく必要性を感じています。

○低学年では、週5日でも、9時半までに就寝する児童が80%以下とかなり少なくなっています。また、4年生も週5日でも10時までに就寝出来ない児童が約3割となっており、睡眠の必要性に特化して啓発していく必要性も感じています。

※1・2年生：9時半 3・4年生：10時 5・6年生：10時半 までに5日以上就寝した児童の割合を示す。